

2人のために鐘は鳴る

三宅町 音と陽の記念碑

三宅町は、「恋人の聖地」に認定されて2周年となるのを記念して、モニュメント2基を新たに作った。

静岡市のNPO法人・地域活性化支援センターが2014年、プロポーズにふさわしいロマンチックな場所として、同町を県内2か所目の「恋人の聖地」に認定。同町伴堂のポケットパークに金色の銘板とラブチェアが置かれている。

新しいモニュメントは、金色のベルがある高さ3・1メートルのアーチ

形の「音の風景」と、太陽の光を受けて二重のハートの影が石の彫刻に映る「陽の風景」で、それぞれ町中央公園とポケットパークに設置された。

13日にあった「音の風景」の除幕式で志野孝光町長は「愛と幸せの響きが多くの人に伝わるように活用したい」とあいさつ。参加者がベルを鳴らし、アーチをくぐった。

ベルを鳴らせるのはイベントの時だけ。アーチは日没から3時間程度、LEDの光に彩られる。

恋人の聖地2年



新しく完成したモニュメント「音の風景」（三宅町で）